

《女川原子力発電所2号機の安全対策工事の進捗状況を紹介します》

当発電所では、2号機の安全対策工事について、本年11月の完了を目指して鋭意取り組んでいます。今回は、発電所構内の安全対策工事の進捗状況をご紹介します。

防潮堤 津波対策

- 最新の知見などを踏まえ、発電所に到達する津波の高さを23.1mと評価し、国内最大級の海拔29m、総延長約800m(鋼管式鉛直壁:約680m、盛土式の堤防:約120m)の防潮堤を設置します。
- 現在は、盛土式の堤防の設置工事を実施しています。

工事の推移



海拔17mの防潮堤
(2012年9月撮影)



鋼管式鉛直壁設置工事
(2015年4月撮影)



盛土式の堤防設置工事
(2023年6月撮影)



現在の様子(2023年6月撮影)

発電所では、今回紹介した他にも、様々な安全対策工事を行っています。詳細は当社ホームページにてご紹介しています。



緊急時対策建屋 緊急時の指揮所機能の強化

- 大規模な原子力災害が発生した際の現地対策本部となる建屋を津波の影響を受けにくい海拔約60mの高台に設置します。
- 現在は、建屋内の大型モニターなどの電子機器類の整備を進めています。

工事の推移



基礎設置工事
(2018年12月撮影)



緊急時対策建屋(外観)
(2023年1月撮影)



建屋内の様子
(2023年6月撮影)

ガスタービン発電設備(緊急用電気品建屋) 電源確保の多様化

- 送電線を介して送られてくる電気や発電所内の非常用ディーゼル発電機が使えなくなった場合に備え、海拔約60mの高台に設置します。
- 現在は、建屋内の電気系統の工事を実施しています。

工事の推移



緊急用電気品建屋の建設工事
(2021年5月撮影)



※ガスタービン発電設備は発電機車と制御車で構成

緊急用電気品建屋内に
ガスタービン発電設備を設置
(2023年1月撮影)



現在の様子
(2023年5月撮影)

《「ローズガーデンフェア2023」を開催中》

女川原子力PRセンターでは、現在「ローズガーデンフェア2023」を開催中です。ご来場いただいたお客さまには、バラのトンネルなどを背景とした記念撮影と写真のプリントサービスも行っています。約110種類のバラが色鮮やかに咲き誇っていますので、ぜひ、皆さまお誘いあわせのうえお越しください。

開催期間
6月30日(金)まで

入場
無料

おすすめのバラを紹介します!

バラと一緒に記念撮影
写真のプリントサービス付き♪



「イングリットバーグマン」

光沢のある赤色と端正な花容が特徴で、10~12cmほどの大輪を咲かせます。

登録品種だけで4万品種以上あると言われるバラの中でも、18品種しか選ばれていない「バラの殿堂」の1つでもある美しい花です。

《「いもフェス2023」の参加者を募集します》

女川原子力PRセンター敷地内の果樹園で育てた「じゃがいも」の収穫体験イベント「いもフェス2023」を開催します。ぜひ、ご家族でお申し込みください。

日時

2023年7月15(土)、16日(日)

午前の部:10:30~11:30/午後の部:14:00~15:00

※じゃがいも掘り40分、PRセンター見学20分を予定

会場

女川原子力PRセンター

対象

小学生以下の児童とその保護者

定員

各回20名さま(児童・保護者の合計人数)

※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込締切

7月5日(水)

抽選結果

7月7日(金)までにメールでお知らせいたします。

参加費無料

お申込みはこちら



当日の様子を撮影させていただき、当社の広報媒体・SNSなどで使用させていただく場合がありますのでご了承ください。

雨天の場合は、「PRセンター見学」のみ開催いたします。終了後、じゃがいもをプレゼントいたします(小雨決行)。

イベントへの
お問い合わせ
お申込み先

女川原子力PRセンター (〒986-2221 女川町塚浜字前田123)

開館時間 9:30~16:30
(毎月第3月曜日は休館日)

電話番号 0225-53-3410

《環境美化活動を実施しました》

5月17日、発電所員38名で、発電所周辺の道路(県道41号線:発電所~前網浜間の約4km)の環境美化活動を行いました。

当日は、道路脇に捨てられた空き缶やペットボトルなどを分別しながら約30袋のごみを拾い集めました。

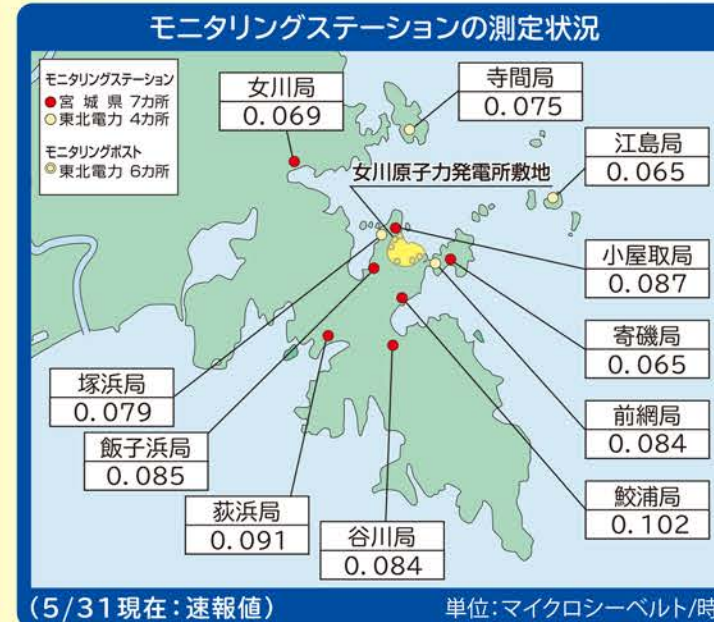


道路脇のごみを分別しながら拾い集める発電所員

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2023年5月31日の測定値は、最大で0.046マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの
最小値と最大値※3

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉	最小値	最大値
2011年3月11日	0.027	0.064
〈地震発生後最大値〉		
2011年3月13日	1.8	21※4
〈地震発生から2年と 至近2年の(4/1)値および前月値〉		
2012年4月1日	0.063	0.098
2013年4月1日	0.055	0.076
2022年4月1日	0.033	0.045
2023年4月1日	0.034	0.046
2023年5月1日	0.034	0.055
2023年5月31日	0.034	0.046

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。再生紙を利用しています

